

ご使用に際し、この添付文書は必ずお読みください。
また、必要な時にお読みになれるように大切に保管してください。

第②類医薬品 解熱鎮痛薬 新チンツー



使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

(1) 今までに本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2) 今までに本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないこと

4. 長期連用しないこと

相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 授乳中の人。

(4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。

(5) 高齢者。

(6) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

(7) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(8) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振		

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜に表れる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

【効能・効果】

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛

- (2)悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

年 齢 区 分	服用量(1回量)	年 齢 区 分	服用量(1回量)
15才以上	1包	3才以上7才未満	1/3包
11才以上15才未満	2/3包	1才以上3才未満	1/4包
7才以上11才未満	1/2包	1才未満	服用しないこと

1. いずれも1日2回を限度とし、なるべく空腹時を
さけ、水又はお湯で服用する。
2. 服用間隔は6時間以上おくこと。

(用法・用量に関連する注意)

1. 定められた用法、用量を厳守すること。
2. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督の
もとに服用させること。

【成分・分量】1日量 2包(2,000mg)中に次の成分を含んでいます。

成 分 名	含有量
アセトアミノフェン	600mg
エテンザミド	800mg
無水カフェイン	100mg

・添加物として乳糖、カルメロースナトリウムを含有する

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に
保管すること。
2. 小児の手の届かない所に保管すること。
3. 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れ
替えないこと。
4. 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口
を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
5. 使用期限(外袋記載)を過ぎた製品は使用しない
こと。

お問い合わせ先

製造販売元 西海製薬株式会社

住 所 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦192番地

電話番号 0942-92-2303(代)

受付時間 9:00~16:00(土、日、祝日を除く)